

メモモグラフィット

No.303

民主主義学生同盟
市大支那機関紙9/14

チェコスロバキアをめぐる事態について

① 8月21日、突如ワルシャワ条約機構軍がチェコスロバキアに進出した。この事態は世界の世説をはなはだしく当惑させ、特に平和を求める多くの学生を、残念ならせに、

一方、この事態に便じて、商業新聞その他を通じ、幾多にみられた反社会主義の宣伝が大量に行なわれている。滔々たる反共・反ソの大会喝こそ、戦争勢力の利益に合致する。政府支配層は米帝国主義のベトナムにおける侵略と残虐行為に協力加担し、それを隠蔽しながら「社会主義国の侵略」の名のもとに冷戦をあり、自己の戦争政策を国民に容認させようとしている。

政府は今回の事態を利用し、「自主防衛」「安保条約の必要」性をたてなく強調している。我々は、今回の事態が、頭のとっぺんから瓜の先まで武装し血みどろの帝国主義国の民族抑圧、侵略と残虐行為とは明確に区別されるべきものであり、社会主義共同体の連帯と、世界の平和と平和共存諸国民の平和と安全をめぐり前進する社会主義国家間に於て生じた重大かつ複雑な事態である事を確信している。我々は帝国主義者連の反社会主義宣伝をさっぱりと拒否する。彼らがこの問題について語る資格は無い。

② この事をやうに確認した上で、我々は、我同盟が繰り返し確認して来た国家間の民主主義的諸原則に照らして不安と驚きのうちにある学生のために、平和と平和共存の更なる前進の為に分析しなければならぬ。その原則はモスクワ声明に定言されている。社会主義諸国は、その相互関係を、完全な同権、領土の保全と国家的独立及び主権の尊重、相互の内政不干渉という原則に基いてつらねてこれている。社会主義国家間の相互関係の問題は皆、社会主義的国際主義の原則を無条件に守りながら、同志的に討議する事によって完全に解決する事ができる。ななる原則こそ銘記すべきやうな点である。次に、この事態の背景にある重大な問題である。報復主義的侵略勢力の急速に抬頭している西独帝国主義の侵略的軍事的同盟政策、破壊的バイ行為をめぐり、公然の干渉政策、ななる事態こそ明白に平和共存の根本原則に対する重大な挑戦であり世界平和に対する重大かつ具体的脅威である。このような情勢の認識

③ 以上の確認の上で、多くの学生が平直に疑問と不安を表明しているチェコと社会主義五ヶ国の国家間における、あの突如たる、信じがたい事態について我々の見解を表明しよう。

我々は、社会主義国の團結を希い、平和を求める多数の学生と共に、ワルシャワ条約機構軍のチェコ進出という事態について、理解しなにく支持する事は出来ない事を表明する。しかし我々は、ソ連邦を始めとする社会主義諸国の一貫した世界平和と諸国民の安全をめぐり政策こそ、侵略と反動の世界帝国主義の戦争政策に対して、斗う諸国民に勇氣と確信を与えるものである事を知っている。

英雄的ベトナム人民と、ソ連邦を始めとする社会主義諸国の連帯、全世界平和運動との連帯を今后とも隨の様に守り抜き、斗い抜き決意である。

今回の複雑困難な事態について、「大い主教的干渉」としてのみ理解する日本共産党(党々木)及びそれぞ自らの見解を代用する民衆の主張が存在する。社会主義諸国との連帯の重要性を軽視し、今回の困難かつ複雑な事態と帝国主義者の侵略政策との根本的相異を曖昧にするななる主張は、主観的にはどうあれ客観的には、悪意ある反共宣伝、「自主防衛」の宣伝に屈服した主張と云わねるを得ない。トロツキズム諸派の主張に至っては全く帝国主義者の定例になり下っている。

④ 今後の事態について我々は次のように考えている。我々は、一回の未来は一回の党・労働者階級・国民の責任において、平和を求むる諸国民と連帯協力して解決するといつ不動の原則を再度確認する。チェコの国民が自由平等に現在の困難な諸問題を真剣にとりくみ、その真の利益と世界平和に合致する諸決定を行なう事を可能にする条件がつくられるのを見たいという強い希望を表明する。

先日采の状況は、ソ連邦・チェコ両国首脳会談の声明以後、急速に我々の希望が実現されていくであろう事を確信している。我々はチェコ労働者階級と国民が、社会主義的英雄的獲得物をやり抜き、世界平和の変わる事なき斗士として我々の深い期待に応えるであらう事を信じている。

① この事態に便じて、商業新聞その他を通じ、幾多にみられた反社会主義の宣伝が大量に行なわれている。滔々たる反共・反ソの大会喝こそ、戦争勢力の利益に合致する。政府支配層は米帝国主義のベトナムにおける侵略と残虐行為に協力加担し、それを隠蔽しながら「社会主義国の侵略」の名のもとに冷戦をあり、自己の戦争政策を国民に容認させようとしている。